

被害相談、570件9億円

リフォーム詐欺
過去5年間調査
岐阜など22都府県

詐欺容疑で元社員らが逮捕された東京のリフォーム会社「サムニンググループ」(現・リプロ)グループをめぐる各地の消費生活センターへの相談

や苦情は、五年間に七百七十件あり、契約額で約九億四千万円に上ることが二日、共同通信の全国調査で分かった。

警視庁は同社グループが岐阜など三十四都府県で約八千九百件、計百五十億円の契約を取っていたとみているが、相談はその一割以下にとどまっ

た。被害者の大半が被害に気付かないか泣き寝入りしているとみられる。被害相談に当たる弁護士は「お年寄りの中には周囲に遠慮して言い出せ

ない人もいる」と指摘。被害回復や注意喚起など高齢者への対応が課題といえそうだ。

た。岐阜は一件だった。北海道や四国、九州では相談、苦情は確認できなかった。

欠陥住宅関東ネット事務局長の谷合周三弁護士は「だましのプロ集団にはお年寄りはひとたまりもない。財産を失い、精神的ダメージが大きい。周囲に遠慮し切り出せない人もいる。一方で被害の認識のない人も多い。相談しやすい環境をつくり、お年寄りを孤独な状態にしておかないことが大切だと思う」と話している。

調査によると、相談や苦情は岐阜など二十二都府県で寄せられていた。二百五十三件と最も多かった東京都をはじめ、埼玉、千葉、神奈川の四都

府県で計四百件を上回り、首都圏を含む関東地方でトラブルが集中していた。次いで多かったのが静岡、愛知など地震の発生が心配される地域だっ

た。約二千万円の契約をした人や、数年間にわたり次々と契約を結んだ人もいた。相談者のほとんどは契約を直後に取り消すクーリングオフで解決していた。警視庁のこれまでの捜査で、同社グループは付け入りやすい人のリストを作って営業を進め、建築の知識がありそ

た。被害者の大半が被害に気付かないか泣き寝入りしている。被害相談に当たる弁護士は「お年寄りの中には周囲に遠慮して言い出せ

た。約二千万円の契約をした人や、数年間にわたり次々と契約を結んだ人もいた。相談者のほとんどは契約を直後に取り消すクーリングオフで解決していた。警視庁のこれまでの捜査で、同社グループは付け入りやすい人のリストを作って営業を進め、建築の知識がありそ

た。約二千万円の契約をした人や、数年間にわたり次々と契約を結んだ人もいた。相談者のほとんどは契約を直後に取り消すクーリングオフで解決していた。警視庁のこれまでの捜査で、同社グループは付け入りやすい人のリストを作って営業を進め、建築の知識がありそ

【関連記事27面に】